

# 第2回大阪マラソン チャリティ事業 実施報告

- チャリティ専門部会組織構成
- チャリティテーマ、色について
- チャリティ募金方法
- チャリティ募金の活用及び金額

大阪マラソン組織委員会

# ■チャリティ専門部会

---

大阪マラソンのチャリティプログラムについては、下記の専門部会を立ち上げました。各分野の専門家など5名が委員に就任し、基本方針や内容について話し合っていました。

名称:「大阪マラソン組織委員会 チャリティ専門部会」

委員(座長)	橋爪紳也氏(大阪府大教授)
委員	杉本厚夫氏(関西大教授)
委員	尾上達郎氏(読売光と愛の事業団 理事)
委員	徳永眞一郎氏(電通 統合ソリューション局長)
委員	窪田邦倫(読売新聞大阪本社 取締役事業本部長)

オブザーバー:大阪マラソン組織委員会事務局

事務局:読売新聞大阪本社

※専門部会での討議内容は、組織委員会に提案、承認されることで決定する。

# ■チャリティテーマについて

エントリーする際に、大会スローガンである「みんなでかける虹。」にちなんだ7色に、東日本大震災復興支援の「虹色」を加えた8つのテーマの中から、希望する寄付先を選択していただきました。

	色	テーマ	寄付先	主な活動内容
1	赤	がんを撲滅する活動を支援しよう	がんサポートコミュニティ	がん早期発見に向けた検診の啓発
2	オレンジ	障がいのあるアスリートを応援しよう	日本障害者スポーツ協会 スペシャルオリンピックス日本	障がい者スポーツの指導者やボランティア育成支援
3	黄	病気に苦しむ子どもと家族を励まそう	難病のこども支援全国ネットワーク	病院や自宅で難病と闘う子どもたちへの絵本などのプレゼント
4	緑	森林をよみがえらせ、育てていこう	more trees(モア・トゥリーズ)	間伐など国内外での森林整備支援
5	水色	きれいな水を飲める世界を目指そう	国連UNHCR協会(国連難民高等弁務官事務所・日本委員会)	アフリカにおける難民への命を守る水の提供
6	紺	子どもたちの心と体づくりを支えよう	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	アジアの途上国の子どもたちに向けた教材などの提供
7	紫	景観を守り、美化する活動を広げよう	グリーンバード	地域清掃など、自分たちが住む街をきれいにする活動
0	虹色	復興に向け、ひとつになろう	読売光と愛の事業団	東日本大震災で被災された人々へ希望を届ける

# ■ 募金活動の方法について

---

## ■ (継続・拡充) 大阪マラソン参加者からの寄付

大阪マラソンが「チャリティマラソン」であることに賛同いただいた上で、参加申し込み時に、参加料とは別に1口500円の寄付金を2口以上いただきました。

## ■ (継続・拡充) Just Giving Japanを経由した寄付

一般財団法人「Just Giving Japan」と連携し、インターネットでランナー個人やチャリティランナー、サポーターの方々が寄付を募る「大阪マラソン特設チャリティサイト」を立ち上げ、チャリティに参加してもらいました。

## ■ (継続) チャリティ募金箱の制作

チャリティプログラムへの賛同企業、団体などに、大会オリジナルの募金箱(8テーマ)を設置いただきました。

## ■ (新規) 公式プレイベントや大阪府内商店街との連携イベントでの募金活動

9月8日開催のウォームアップFunRun、9月22日のチャリティシンポジウム、11月18日の第3回大阪ごちそうマラソンなどで募金活動を行いました。また、大阪府内の50商店街で実施された“応援イベント”において、チャリティプログラムのPRと募金活動を実施しました。

## ■ (継続・拡充) 大阪マラソンEXPO2012での募金活動

11月23～25日にインテックス大阪で行われた大阪マラソンEXPOに、8つのチャリティテーマの寄付先団体が集う「チャリティブース」を出展、活動の紹介とともに募金活動を展開しました。またイベントステージでは「チャリティオークション」を実施し、チャリティランナー・サポーターらのサイン入りグッズなどを出品、落札金額をチャリティ募金としました。

## ■ (新規) 大会当日コース沿道での募金活動

11月25日の第2回大阪マラソン当日に関西大学の学生らによる募金活動を行いました。

# ■チャリティランナー・サポーター

---

各界の著名人にチャリティプログラムに賛同いただき、チャリティへの協力を広く呼びかけ、大会を盛り上げていただきました。

## ■チャリティランナー

大阪マラソンを「走」っていただきました

- 福本愛菜(NMB48)
- 小淵健太郎(ミュージシャン コブクロ)
- 古田敦也(スポーツキャスター)
- 和田伸也(ロンドンパラリンピック銅メダリスト)
- 赤星憲広(野球評論家)

## ■チャリティサポーター

大会を各所で紹介し、盛り上げていただきました

- 有森裕子  
(公益財団法人スペシャルオリンピックス日本理事長)
- 増田明美(スポーツジャーナリスト)
- NMB48 7名(山田菜々、山本彩、渡辺美優紀、矢倉楓子、薮下柊、小笠原茉由、吉田朱里)
- 山中伸弥  
(医学者、京都大学iPS細胞研究所 所長。ノーベル生理学・医学賞受賞)

# ■チャリティ関連活動実施報告

## ◆大阪マラソン チャリティシンポジウムの開催

2012年9月22日、ホテル大阪ベイタワー(大阪市港区)で開催。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン事務局長の渋谷弘延さんによる大阪マラソン寄付先団体の活動報告や、スポーツジャーナリストの増田明美さんらによるパネルディスカッション「世界のチャリティマラソン最前線」を通じて、楽しみながらチャリティマラソンへの理解を深めていただきました。



## ◆寄付先団体との連携

寄付先団体に対して「特別参加枠」(チャリティプログラムPR枠)を提供したほか、大会当日には、フィニッシュ地点に専用の「応援エリア」を設けました。

# ■チャリティ募金額について

## 募金額

さまざまな方法で募った色(テーマ)別の募金額は下記のとおりです。これら募金は今後各団体へ入金し、下記の用途のとおり活用される予定です。

	色	寄付先	募金額の用途	募金額	前回大会募金額
1	赤	がんサポートコミュニティー	早期発見早期治療こそが最大のがん対策として、「あなたとあなたの大切な人のために、がん検診を受けましょう！」をテーマに、がん予防啓発活動を展開。	¥5,160,758	¥2,295,804
2	オレンジ	日本障害者スポーツ協会	障害者スポーツ指導者、スポーツ医、トレーナー養成のための講習会などの実施支援。	¥4,826,375	¥2,278,365
		スペシャルオリンピックス日本	1月に韓国で開催された「スペシャルオリンピックス冬季世界大会・ピョンチャン」への日本選手団85名の派遣をはじめ、地区競技会の支援、ボランティアコーチの育成などに活用。		
3	黄	難病のこども支援全国ネットワーク	難病の子どもとその家族のために開催するサマーキャンプ「がんばれ共和国」の経費。8月中旬に兵庫県淡路市での開催を予定。関西地域では初めての取り組みとなる。	¥5,742,924	¥2,504,321
4	緑	more trees (モア・トゥリーズ)	地元の人々と連携して進める森づくりに活用する。間伐や植林だけでなく、木材をはじめとした地域資源の活用など、地域づくりを見据えた活動を展開。	¥4,784,927	¥2,313,087
5	水	国連UNHCR協会(国連難民高等弁務官事務所・日本委員会)	国連UNHCR協会のアフリカでの難民援助活動における給水事業に活用。井戸の設置や老朽化した給水設備の修繕などを進め、衛生的な水を供給する。	¥4,704,913	¥2,321,434
6	紺	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	アフガニスタン・スリランカ両国での教育支援を実施。紛争の影響を受けた子どもたちが、のびのびとスポーツや勉強に取り組める環境づくりに活用する。	¥4,824,439	¥2,235,092
7	紫	グリーンバード	大阪市内での街美化活動の推進をはじめ、福島県いわき市における耕作放棄地の開墾サポート、東京都内からの復興応援バスツアーなどに役立てる。	¥4,584,263	¥2,399,414
8	虹	読売光と愛の事業団	東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島3県の11福祉作業所の再建助成。事業立て直しに必要な設備の修理費や、新たに取り組む商品開発などに活用。	¥10,581,774	¥2,861,793
合 計				¥45,210,373	¥19,209,310